

シェアリングサービス（CtoC）利用者 84%が「満足」、44%が「BtoC サービスより質が高い」

男性は「自由に使えるお金を稼ぎたい」女性は「時間と場所にとらわれない働き方をしたい」

シェアリングサービスへの社会ニーズの高さが浮き彫りに

ココナラ、「シェアリングサービス・スキルシェア利用に関する意識・実態調査」結果発表

日本最大級の個人の得意を売買するスキルのフリーマーケット「ココナラ」を運営する株式会社ココナラ（本社：東京都品川区、代表取締役：南 章行、以下 ココナラ）は、ユーザー数 70 万人、スキル出品数 15 万件、累積成立取引数 150 万件を突破し、順調にビジネス拡大を続けています。

政府が推進する「働き方改革」という文脈を背景に、今年 6 月に閣議決定した成長戦略「未来投資戦略 2017」でも取り上げられている「シェアリングエコノミー」が経済活性化、少子高齢化、地方の課題解決に役立つと期待が寄せられ普及が後押しされる中、2017 年 9 月 6 日～7 日、全国の 20 歳以上の男女を対象に「シェアリングサービス・スキルシェア利用に関する意識・実態調査」を実施し、930 名の有効サンプルの集計結果を公開しました。

調査の結果、シェアリングサービスの満足度の高さの一因が、既存の BtoC サービスよりも質が高いという意識であることが考察されました。また、シェアリングサービス提供理由として、男性は「自由に使えるお金が欲しい」女性は「時間と場所にとらわれない働き方をしたい」が上位に挙げられ、現在の正社員としての枠組みでは対処できない部分をシェアリングサービスが補完していくことが汲み取れます。

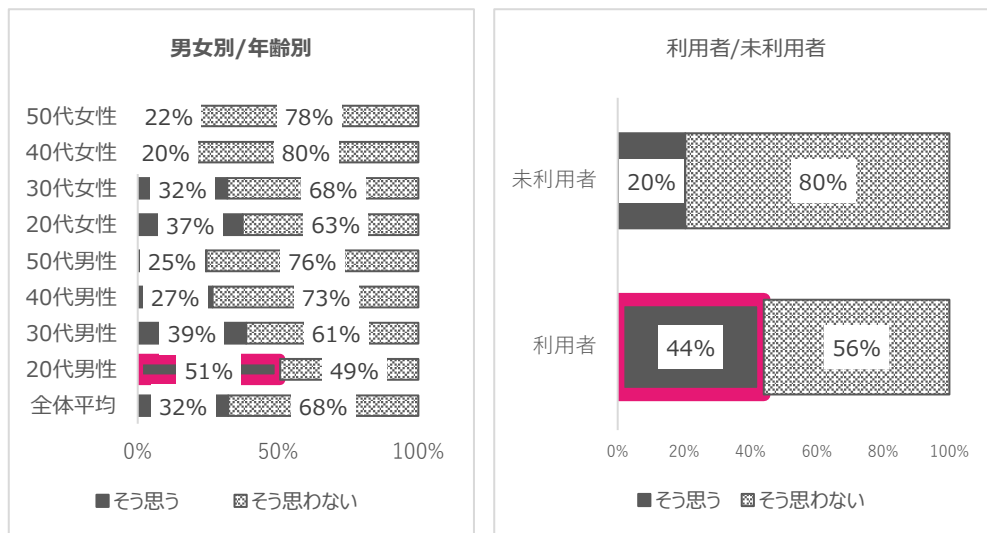
※本ニュースリリース内容の転載にあたりましては、「ココナラ調べ」と付記のうえご使用いただきますようお願い申し上げます。

※本調査に関する詳しい分析レポートはこちらをご覧ください。

<https://coconala.co.jp/pdf/coconala-20171014-Survey-SharingService-SkillShare.pdf>

■シェアリングサービス利用者の 44%は既存サービスより質が高いと評価

Q:シェアリングサービス利用時に満足しましたか？



【本件に関する報道関係お問合せ先】

株式会社ココナラ マーケティンググループ 広報・PR 担当 古川

Mobile : 080-7935-9120 Email : fumi.furukawa@coconala.com

株式会社井之上パブリックリレーションズ ココナラ PR 担当 洪（ほん）、妹尾（せのお）、横田

Tel: 03-5269-2301 Fax: 03-5269-2305 Mail: coconala@inoue-pr.com

<調査結果ハイライト> ※一部抜粋

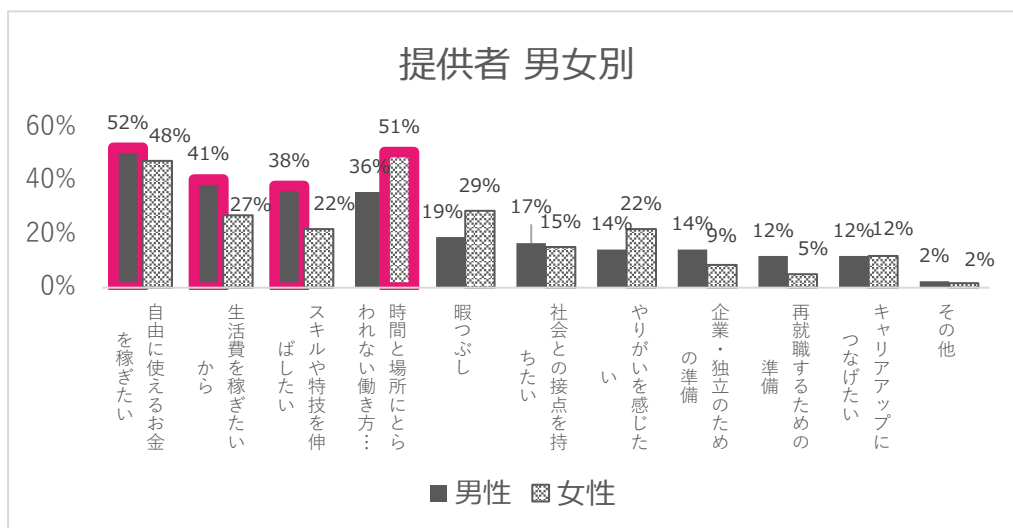
【シェアリングサービスについて】

- 1) シェアリングサービスはリーズナブルな価格と不要なモノを持ちたくないといった理由から、口コミや広告によって利用が広がっている
- 2) 利用者の3人に1人は月に1回以上シェアリングサービスを利用、特に地方の専業主婦は5割以上が月に1回以上利用
- 3) シェアリングサービスの満足度は84%、男性で若いほど満足度が高い。また、利用者の44%は既存のサービスよりシェアリングサービスのほうが質が高いと回答
- 4) 一方で、利用者でも個人間トラブルや個人情報漏洩などに対して不安を抱えながら利用しており、特に主婦や地方在住者ほど不安が大きい
- 5) シェアリングサービスを本業で使いたい人は利用者の47%に達するが、トラブルへの懸念以上に社内制度で許可されていないことが普及の障壁となっている
- 6) シェアリングサービスを提供する場合、利用者の45%が月に5万円以上、21%が月に10万円以上の収入を期待、年齢が高いほど収入以外のインセンティブを求める傾向
- 7) 提供したいシェアリングサービスは男女ともに「モノ」が1位、男性は「移動手段、特技・スキル」、女性は「家事、特技・スキル」が続く。特に首都圏では「特技・スキル」が高い傾向

【スキルシェアについて】

- 1) スキルシェアの認知は若い世代で働いている層が高い、認知層における利用率では高齢者や主婦が高い傾向
- 2) スキルシェアについてもシェアリングサービス全体の傾向と同様、地方の主婦が最も利用頻度が高く、利用者の56%が月に1回以上利用
- 3) 提供したいスキル、男性「旅行、ITスキル、家具組み立て、資料作成、デザイン」、女性「買い物、託児・育児、子育て、料理、掃除」が上位にランクイン
- 4) スキルシェア提供者のうち男性の2人に1人は月収5万円以上、主婦の9割が月収5万円未満
- 5) スキルシェアを提供する理由、男性「自由に使えるお金を稼ぎたい」、女性「時間と場所にとらわれない働き方をしたい」

■スキルシェア提供理由は、男性が「お金やスキル獲得」が上位であるのに対し、女性は「時間と場所にとらわれない働き方」がトップ



本調査結果について、株式会社コナラ代表取締役である南 章行は次のように述べています。

「今回の調査により、シェアリングエコノミーの普及によって収入源や自己実現の選択肢が広がり、日常生活やビジネスシーンにおいてより身近なものになってきている実態が明らかになりました。人口減少や経済低成長などの社会課題に対する解決策のひとつとしても注目が高まっているシェアリングエコノミーの可能性を改めて感じています。コナラとしても、調査結果をもとにサービスのさらなる拡充を推進し、知識・スキル領域のシェアリングサービスの先駆者としてさらに成長を続けていきます」

調査タイトル：シェアリングサービス・スキルシェア利用に関する意識・実態調査

調査日時：2017年9月6日・7日

調査対象：

1. ビジネス [首都圏/大都市/地方] × [男性/女性] × [年代] × [利用/認知のみ]
2. ワーママ [首都圏/大都市/地方] × [利用/認知のみ]
3. 主婦 [首都圏/大都市/地方] × [利用/認知のみ]

サンプル数：930

定義：

- ビジネス（女性）：働いている × 子供なし
- ワーママ：働いている × 子供あり
- 主婦：働いていない × 子供あり
- 首都圏：一都三県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県）
- 大都市：大阪府、愛知県、京都府、福岡県、広島県、宮城県
- 地方：上記以外
- シェアリングサービス：メルカリやラクサスのような「モノ」、Airbnb やスペースマーケットのような「空間」、Uber や Anyca のような「移動」、キッズラインやココナラのような「スキル」など、インターネット上のプラットフォームを介して個人間でシェア（売買や提供）をするサービス
- スキルシェア：スキル（知識・経験など）を、インターネット上のプラットフォームを介して個人間でシェア（売買や提供）するサービス（キッズライン、タスカジ、ココナラ、ストアカ、クラウドワークスなど）
- 利用：個人が保有する遊休資産（スキルのような無形のものも含む）を所有することなく金銭の支払いを通じて活用すること
- 提供：個人が保有する遊休資産（スキルのような無形のものも含む）の活用により収入を得ること

「ココナラ」について

ココナラは知識・スキルの個人間取引（CtoC）プラットフォームです。これまでは、自分の「得意」を活かしてビジネスをしたいと考えても、Web サイトの作成、決済手段の導入、集客活動などのコストを考えると、ニッチでちょっとしたサービスを単独で成立させることは困難でした。ココナラは、誰でも自分の「得意」を活かした相談サービスをネット上で気軽に提供できるようにと、簡単な出品の仕組みで、初期費用や月会費は無料、サービス提供価格は一律 500 円からというチャレンジしやすい価格設定を行った日本初のサービス。2012 年 7 月 3 日にサービス開始後、2017 年 9 月時点で登録ユーザー数約 70 万人、出品サービス数約 15 万件、累積成立取引数約 150 万件を達成しています。

株式会社ココナラについて

会社名：株式会社ココナラ

代表者：代表取締役 南 章行

本社：東京都品川区西五反田 8-1-5 五反田光とビル 5F

設立日：2012 年 1 月 4 日

資本金等：90,000 千円

役職員数：38 名

URL：<http://coconala.co.jp>

【本件に関する報道関係お問合せ先】

株式会社ココナラ マーケティンググループ 広報・PR 担当 古川

Mobile：080-7935-9120 Email：fumi.furukawa@coconala.com

株式会社井之上パブリックリレーションズ ココナラ PR 担当 洪（ほん）、妹尾（せのお）、横田

Tel: 03-5269-2301 Fax: 03-5269-2305 Mail: coconala@inoue-pr.com